

2022年度入学試験問題

造形学部 デザイン情報学科

小論文（図説を含む）（2時間）

【問題】

下の表は過去10年間のメディア別市場規模の推移を調査したものです。

メディア別市場規模の推移<データ> (単位:億円)

区分	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
パッケージ	51,103	50,108	47,826	45,625	43,429	41,826	39,599	37,379	35,587	32,869
ネットワーク	15,393	16,988	19,079	23,098	24,724	28,479	32,458	36,086	39,291	43,620
劇場・専用スペース	14,319	14,552	14,883	15,224	16,108	16,423	16,506	17,377	18,415	8,536
放送	36,560	36,288	36,533	36,052	36,369	36,385	36,449	36,385	35,622	31,950
総合計	117,375	117,936	118,321	119,999	120,630	123,113	125,011	127,227	128,915	116,975
対前年伸び率(単位:%)	▲1.3%	0.5%	0.3%	1.4%	0.5%	2.1%	1.5%	1.8%	1.3%	▲9.3%

ここで、メディアとは「情報を、送り手から受け手に提供するための媒体」を意味することとし、さらにメディア上で流通される情報の中身のことをコンテンツといいます。具体的に、「映画・アニメーション・音楽・ゲーム・書籍など」がコンテンツにあたり、それらの「パッケージ販売やネットワーク配信、映画館やコンサートホールのような劇場、テレビ・ラジオ放送など」がメディアに該当するものとします。

- ①このことを踏まえ、表から読み取れる過去10年間におけるメディアごとの量的な変化を分析し、あなた自身の実体験を交えてコンテンツの質の向上に関する提案について文章（600字以内、タイトルは1行目に15字以内で付ける）で述べなさい。
- ②また、表から読み取った変化と、各メディアのあり方についてあなた自身の将来の予測を理由とともに図解（説明文を含む）しなさい。

[条件]

答案用紙の①の文章は、指定字数に従って縦書きで記入すること。

[配付物]

1. 試験問題

出典：経済産業省商務情報政策局監修、一般財団法人デジタルコンテンツ協会編『デジタルコンテンツ白書2021』、2021、39頁。

2. 答案用紙×1枚

3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

《禁止事項》

指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。